



# 静岡市議会便り

令和8年1月1日発行

〔発行人〕自由民主党静岡市議会議員団 〔発行元住所〕静岡市葵区追手町5-1

静岡市議会議員 堀 努



## はじめに

清水区は豊かな自然と文化に恵まれた地域ですが、少子高齢化や地域の活力低下が課題です。私達は「若者が夢を語り、家庭を築ける環境づくり」と「シニアが安心して暮らせる支援体制の強化」を柱に、全世代が支え合うまちづくりを目指します。また、雇用創出や教育・子育て支援を充実させるとともに、医療・介護体制や地域コミュニティを整備。さらに防災・減災を強化し、市民の安全と命を守る安心のまちを築いてまいります。

## 01 清水港海づり公園、暫定供用開始

管理棟の建設が予定より遅れているものの、栈橋・駐車場・アクセス道路は2026年3月に完成します。市は、市民の期待に応えるため、2026年4月～2027年3月の土日祝日に暫定供用を開始します。営業時間は季節ごとに変更し、料金は大人1,000円・小人500円(4時間まで、延長可)。本格オープンに先行して、安全で快適な海釣りの場を提供していきます。



清水港海づり公園建設地は裏面のマップでご確認ください

01 海づり公園

## 02 清水駅東口に新サッカースタジアム構想進む

静岡市はENEOS(株)と合意書を締結し、清水製油所跡地(約13万㎡)の活用を本格検討しています。老朽化が進むIAIスタジアム日本平(1991年開場、収容約20,000人)の改修には約148億円が見込まれる一方、新スタジアム建設は約236億円と試算。清水駅東口に移転すれば、アクセス向上と地域経済活性化を両立できるとして、2025年度中に方向性を示す方針です。



河岸の市側から望むENEOS遊休地

## 03 駒越・村松交番の再編と新交番建設へ

駒越交番の機能を村松交番に統合する決定に対して、地域では警察力の低下を懸念する声が上がりました。自治会は住民に寄り添った交番の再編を要望し、警察は再検討の結果、日立空調清水株式会社敷地内を新交番の候補地として選定しました。完成は最短で2027年度の予定で、パトカーやミニバスの配備、移動交番車の活用など機能強化も図られます。



現在の駒越交番(昭和52年築)

## 04 三保グラウンドゴルフ場移転整備へ

三保真崎グラウンドゴルフ場は排水性が悪く、大潮や降雨の影響で年間約100日利用できない日があるほか、津波浸水想定区域にも位置しています。このため、旧清水三保市営住宅用地(約1.3ha)への移転整備を進めます。2025年度に測量・設計、2026年度に工事を行い、2027年4月の供用開始を予定。利用者が安心して楽しめる環境を早期に整える計画です。



現在の三保真崎グラウンドゴルフ場

## 05 小中学校体育館への空調整備を推進

文部科学省は、災害時の避難所にもなる小中学校体育館への空調整備を進めるため、2024年度から「空調設備整備臨時特例交付金」を創設しました。静岡市では、この交付金を活用し、東中・長田西小・清水袖師中の3校をモデル校として整備を実施。2025～2026年度に設計・工事・検証を行い、2033年度までに全校整備を完了予定です。



令和5年度 群馬県太田市の先進事例を視察

## 06 貝島地区の土地利活用が始動

清水区三保貝島地区の中部電力(株)所有地について、市は将来的な活用を見据え、2025年1月に基本合意書を締結。譲渡協議に向けて測量・境界確定(1,480万円)を実施し、建設発生土受入れのための土地賃借(1,170万円)も行います。低未利用地を整備し、資源の有効活用と地域経済の活性化を図る事業です。



貝島地区の中部電力(株)所有地は裏面のマップでご確認ください

06 貝島地区



# 楽しみながら自然と共生するまちづくり

多様な仕事と豊かな生活環境

持続可能な教育と文化

安心できる防災体制



## 清水区の鳥観図を作成しました

清水区は21地区からなり、駿河湾や興津川、オクシズ、日本平など豊かな自然に恵まれています。さらに、古くから交通の要衝として栄え、清水港を有する国際海洋文化都市として歴史と発展を重ねてきた地域です。

吉田松陰は「事を論ずるには、当に己れの地、己れの身より見を起すべし、乃ち着実と為す」と述べています。まさに、私達が暮らすこの清水の姿を正しく見つめることから、まちづくりは始まると思っています。

鳥観図によって清水全体を俯瞰し、その特色を生かした、偏りのない施策づくりへとつなげてまいります。